

1 単元名 「思い出のアルバム」

教材名 「わすれられないおくりもの」

2 単元の目標

- ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知識及び技能) (1)カ
- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思考力・判断力・表現力等) Bウ
- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。(思考力・判断力・表現力等) C(1)エ
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、「わすれられないおくりもの」とは何か、自分の感想や考えをもつことができる。(思考力・判断力・表現力等) C(1)オ
- ・登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、「思い出のアルバム」に書こうとしている。(学びに向かう力、人間性等)

3 指導事項に合致した言語活動とその特徴

指導内容に合致した言語活動として、「登場人物になりきって、気持ちや情景を想像し、思い出のアルバムにまとめる活動」を位置付けた。今回の学習は、時間の流れと合わせて登場人物の動きを読み取る。その際、それぞれの登場人物が「したこと」と「されたこと」から、登場人物の立場に立って気持ちを想像する場を設ける。この言語活動を位置付けた活動を展開することで、「登場人物の気持ちを想像しながら文章を読むことで、感想や考えをもつことができる」という目標を達成することができる。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は「わすれられないおくりもの」という教科書教材である。あなぐまと森の動物たちとの関わりを読み取ることで、「おくりもの」が単なる「もの」ではなく、「思い出」や「知恵」や「工夫」など、あなぐまと動物たちの間に深い心のつながりがあることを感じ取ることができる教材である。

本単元では、物語の内容について読み深めた後、自分自身が森の動物になりきって、あなぐまとの思い出から、あなぐまの思いやあなぐまに対する動物たちの気持ちを想像する。その後、それに対する自分の考えや気持ちを「思い出のアルバム」にまとめる活動をする。このことを通して、より一層双方の気持ちに触れ、登場人物に対する自分の感想や考えをもつことができると考えた。

(2) 児童の実態

「読むこと」の意識調査の考察や、記述することについての実態調査は、省略させていただきます。

(3) 指導観

児童は読書の時間が比較的、好きである。児童の様子を見てみると、絵本などの短いお話を好んで読んでいる児童が多い。また、1学期で学習した「白い花びら」や「のらねこ」では、場面の移り変わりや登場人物の心情を読み取り、感想や自分の考えを書く学習を重ねてきた。

第一次では、登場人物になりきって、気持ちを想像しながら読み深め、「思い出のアルバム」にまとめていくことを目標に、学習の見通しを立てさせる。物語を読み、物語のあらすじや登場人物の特徴について、場面ごとにまとめていく中で、自分にとっての「おくりもの」とは少し違うということに気付かせ、あなぐまや森の動物たちにとっての「おくりもの」についての関心を高めさせていきたい。

第二次では、場面ごとに物語を読み深めていく。一の場面から三の場面では、あなぐまの死に対する考え方や死に向かうまでの様子について、あなぐまになりきって気持ちを想像させていく。四の場面と五の場面では、悲しみが伝わる表現に着目しながら、森の動物たちのあなぐまへの思いを想像させながら読み深めさせたい。六の場面では、あなぐまと森の動物たちとの思い出をまとめることを通して、「わすれられないおくりもの」とはどのようなものなのかについて考えていく。その際、文末の「～してくれる」「～してもらおう」などの表現に着目し、誰が誰のためにしたことなのかを整理しながら読んでいく。本単元のゴールである「思い出のアルバム」をまとめる活動につながる場面にもなるので、相互の関係についてわかりやすく確認しながら、学習を進めていきたい。七の場面と八の場面では、あなぐまの思い出、あなぐまの死、現在、という流れを整理しながら、もぐらの気持ちの変化を想像し、「わすれられないおくりもの」について考えをまとめさせたい。「思い出のアルバム」を作成する中で、自分が想像したあなぐまやもぐらの気持ちに対する、自分の感想やその理由を明確にしながらまとめさせていきたい。

第三次では、他の動物になりきって、「思い出のアルバム」を作成する。

この学習を通して、物語を読み進めるうえで、登場人物になりきって、気持ちを想像しながら読むことの楽しさを感じさせるとともに、自分の考えや感想をもつことができるようにさせたい。また、学級内で共有する場面を設け、互いの意見の相違や共感できる部分などに気付かせ、読書活動への意欲を高めさせたい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(知識及び技能) (1)カ	①自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(思考力・判断力・表現力等) Bウ ②登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(思考力・判断力・表現力等) C(1)エ ③文章を読んで理解したことに基づいて、「わすれられないお	①登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、「思い出のアルバム」に書こうとする。(学びに向かう力、人間性等)

	くりもの」とは何か、自分の感想や考えをもっている。(思考力・判断力・表現力等) C (1)オ	
--	---	--

6 指導と評価の計画（11時間扱い）

学習過程	時間	学習内容・学習活動	評価規準・評価方法等
一次 (見い出す)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「わすれられないおくりもの」を読み、初発の感想を書き、発表をする。 ・わすれられないおくりものとは何か、自分の考えを発表する。 ・学習の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで理解したことに基づいて、「わすれられないおくりもの」とは何か、自分の感想や考えをもっている。(思考力・判断力・表現力等) C(1)オ <ワークシート・発表>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・場面分けをして、各場面の要約をしていく。 	
二次 (自分で取り組む)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・一・二・三の場面を読み深める。 ・あなぐまの生前の様子についてまとめ、あなぐまの森の動物たちに対する気持ちを想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(知識及び技能) (1)カ
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・四・五の場面を読み深める。 ・あなぐまの死を知り、残された動物たちの気持ちを想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(思考力・判断力・表現力等) C(1)エ
	5・6	<ul style="list-style-type: none"> ・六の場面を読み深める。 ・あなぐまと森の動物たちとの思い出をまとめ、「わすれられないおくりもの」との関係や動物たちの気持ちについて考える。 	<ワークシート・発表>
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・七・八の場面を読み深める。 ・あなぐまからの「おくりもの」によって、もぐらの気持ちがどのように変化していったのかを読み取る。 	

(広げ 深める)	8 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> •もぐらの気持ちを想像しながら、「思い出のアルバム」メモを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> •自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(思考力・判断力・表現力等) Bウ •文章を読んで理解したことに基づいて、「わすれられないおくりもの」とは何か、自分の感想や考えをもっている。(思考力・判断力・表現力等) C(1)オ <p><ワークシート・発表></p>
	9	<ul style="list-style-type: none"> •メモをもとに、「思い出のアルバム」を完成させる。 •班ごとに共有をする。 	<ul style="list-style-type: none"> •登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、「思い出のアルバム」に書こうとする。(学びに向かう力、人間性等) <p><ワークシート・発表></p>
(まとめ あげる)	10	<ul style="list-style-type: none"> •ほかの動物を一匹選び、あなぐまへの気持ちを想像しながら「思い出のアルバム」メモを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> •自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(思考力・判断力・表現力等) Bウ •文章を読んで理解したことに基づいて、「わすれられないおくりもの」とは何か、自分の感想や考えをもっている。(思考力・判断力・表現力等) C(1)オ <p><ワークシート・発表></p>
	11	<ul style="list-style-type: none"> •メモをもとに、「思い出のアルバム」を完成させる。 •学級で共有をする。 	<ul style="list-style-type: none"> •登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、「思い出のアルバム」に書こうとする。(学びに向かう力、人間性等) <p><ワークシート・発表></p>

7 本時の指導（8／11）

（1）本時の目標

- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（思考力・判断力・表現力等）Bウ
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、「わすれられないおくりもの」とは何か、自分の感想や考えをもっている。（思考力・判断力・表現力等）C(1)オ

（2）展開

過程 時配	学習内容と学習活動	指導・支援(○)と評価(◇)	備考
導入 (見出し) 5分	1. 前時の学習を振り返る。 2. 学習問題を立てる。 森の動物の気持ちを想像しながら「思い出のアルバム」メモを書こう。	○学習計画をもとに、本時の課題を確認する。	掲示物 ・学習計画
展開 (自分で 取り組む) 25分	3. あなぐまと森の動物たちとの関係を振り返る。 4. 「思い出のアルバム」メモに書く。 ・あなぐまや動物たちの気持ちを想像する。 ・その時の様子を想像する。 ・自分の考えや感想をまとめる。	○誰が誰に何をしたのか、何をしてもらったのかを確認する。 ○「おくりもの」がももではなかったことを確認する。 ○あなぐまと動物たちの気持ちを合わせて考えさせ、気持ちの違いに気付かせる。 ○なかなか書けない児童には、会話をしながら一つずつ確認をし、書くことができるように内容を整理させていく。 ◇自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（思考力・判断力・表現力等）Bウ ◇文章を読んで理解したことに基づいて、「わすれられないおくりもの」とは何か、自分の感想や考えをもっている。（思考力・判断力・表現力等）C(1)オ	掲示物 ・拡大相関 図 ワークシート
(広げ 深める) 10分	5. 同じ動物のグループで共有する。	○自分と同じ考えなのか、違う考え考えなのか、似ている考えなのかなど、聞くポイントを明確にさせる。	

まとめ (まとめ あげる) 5分	6. 振り返りカードに記入する。		振り返りカード
---------------------------	------------------	--	---------

(3) 板書計画

ワークシート (拡大)	相関図	<p>学</p> <p>動物の気持ちを想像しながら 「思い出のアルバム」メモを書こう。</p>
----------------	-----	---